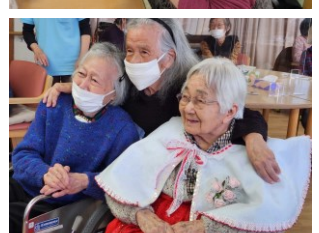
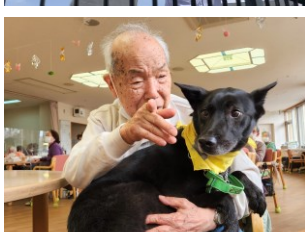


社会福祉法人 すみなす会 長期計画



目次

1	はじめに	1
2	20周年記念誌「すみなす物語 2」でのSDGsの視点からの未来構想作成を経験して	1
3	「すみなす会長期計画」策定にあたって	3
3-1	長期計画の期間	
3-2	長期計画策定の方法	
4	すみなす会の課題と4つの経営理念 ～2032年SDGs目標達成を目指して～	3
5	すみなす会長期計画 ～4つの経営理念と重点項目～	5
6	計画内容	
(1)	私たちは、地域と共につながり合い、支え合い、創り合える社会を目指します	6
(2)	選ばれる、満足できる、すみなす品質を高めていきます	9
(3)	誰もがやりがいを持てる職場、ぬくもりのある職場、誇りを持てる職場を作ります	12
(4)	事業を進めていくにあたっては、SDGsの視点を取り入れます	14

社会福祉法人すみなす会 長期計画

1 はじめに

すみなす会は2001年5月1日に事業を開始して以来、法人理念『「すみなす=住み成す」の実現』、『地域の誰もが明るく豊かに！』を掲げ、横浜市金沢区釜利谷の地から金沢区、横浜市内へと事業を広げてきました。

地球環境の深刻な課題、国際紛争、差別や貧困、複雑な諸問題に対して世界全体が共有する危機感が高まっている中、すみなす会は2021年に20周年を迎え、20周年記念誌の編纂に取り組みました。記念誌の編纂を通して、すみなす会は社会に対してどのような責任を果たし、社会をどのように支え、関わっていくのか、そのビジョンを法人職員全員で共有し、事業を進めていくことが喫緊の課題であるとの認識に立ち、2022年より「すみなす会長期計画」の策定を進めました。

以下、20周年記念誌「すみなす物語 2」作成での経験、「すみなす会長期計画」策定の概要、すみなす会の課題と4つの経営理念、2032年までの10年間に取り組むべき重点項目、「すみなす会長期計画」の具体的内容について説明します。

2 20周年記念誌「すみなす物語 2」でのSDGsの視点からの未来構想作成を経験して

すみなす会は2023年5月1日に事業開始から22年、地域福祉の拠点として、誰もが安心して住み慣れた地域で暮らし続けられることを目指し、当初の6事業から現在は54事業を運営するまでになりました。これらの事業の日々の営みの一つひとつは小さなものではありませんが、地域の中で真摯に愚直に積み重ね、その一つひとつが繋がりが合い、地域との関わりの中で新たな事業や地域活動を生み出し、それらが有機的に繋がり、すみなす会とそれを取り巻くネットワークに広がっています。このすべては2015年国連サミットで採択された国際目標であるSDGs(持続可能な開発目標)^{注1)}の17の目標を達成することに繋がっていると考えます。

20周年を迎えた2021年に、記念誌「すみなす物語2」にて、「すみなす会の歩み」「各事業所の活動紹介」「今後に向けて」を3つの柱に、すみなす会の“過去”“現在”“未来”をまとめました。すみなす会の歴史と事業の広がりを踏まえ、全事業所でSDGsの理解を深め、職員主体で意見を出し合い、SDGsの視点から未来を描きました。

20周年記念誌「すみなす会の20年とこれから～SDGsの視点から～」の「はじめに」において、SDGsの視点を取り入れる理由について述べています。

「SDGsが目標達成のゴールとしている2030年は、SDGsネイティブである現在の小学校高学年が成人に、大学生は30代半ば、社会で活躍している頃でしょう。その頃の社会は新しい価値観が世の中を動かし、今とはかなり違う社会になっているかもしれません。(中略)SDGsは多種多様な課題の解決に向けて統合的な取り組みを促すものです。2030年を期限とする目標の達成は義務でもなく、進め方についてルールがあるわけでもありません。SDGsには課題を捉えなおし、取り組みを広げる力があると考えます。(「社会福祉法人すみなす会20周年記念誌」(2021)p.54)」

20周年記念誌作成において、SDGsの視点からすみなす会の課題を整理する中で、多様な課題を認識しました。多くの課題は複雑に絡み合い、それぞれに関連し合い、多角的なアプローチが必要であることも確認しました。

また、地球環境の悪化、新型コロナウイルスの影響、不安定な社会情勢等による社会の大きな転換期にある今、想定外のことが次々起こることを前提に事業を運営していかなければなりません。先行きが不透明で、将来の予測が困難な時代において、地域の一社会福祉法人として果たし得る社会的使命について考える時である認識を持ちました。

すみなす会の今後の事業展開においては、5事業所および事務局がそれぞれの役割を再点検し、より深めていくと同時に、新たなニーズの発掘が求められること、各事業所が単独で事業を展開していただくだけではなく、事業所間で、または法人全体で方向性を確認していきながら実施していくことで、多面的、多角的に課題にアプローチし、より大きな相乗効果を生み出すものと考えました。

注1) 持続可能な開発目標 (SDGs) について(資料1)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいてすべての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年度とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

17のゴールは①貧困や飢餓、教育などいまだに解決を見ない社会面の開発アジェンダ、②エネルギーや資源の有効活用、働き方の改善、不平等の解消などすべての国が持続可能な形で経済成長を目指す経済アジェンダ、そして③地球環境や気候変動など地球規模で取り組むべき環境アジェンダといった世界が直面する課題を網羅的に示しています。SDGsは、これら社会、経済、環境の3側面から捉えることのできる17のゴールを、統合的に解決しながら持続可能なよりよい未来を築くことを目標にしています。

資料1: 外務省国際協力局「持続可能な開発目標 (SDGs) について」p.2

3 「すみなす会長期計画」策定にあたって

20周年記念誌「すみなす物語2」での未来構想作成の経験を踏まえて、SDGsの期限である2030年を超えて2032年までの10年先の未来に向けて、先行きが不透明で、将来の予測な困難な時代において、地域の一社会福祉法人として果たし得る社会的使命、経営理念を丁寧に議論し、長期計画を作成しました。

作成した経営理念の実現を目指し、記念誌作成時に確認した課題に加え、新たに確認した課題について法人全体で幅広く検討を行いました。それぞれの経営理念を達成するための重点項目および計画内容を検討し、地球規模の視点からの思考と地域に根差した日々の実践の相乗効果により、「すみなす会の実践」そのものが「SDGsの目標達成」となるよう、SDGsの持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標を念頭に、「すみなす会長期計画」作成に取り組みました。

3-1 長期計画の期間

この長期計画は、2023年度を起点として、概ね3年から5年先(2025年度から2027年度)までの間を前期、それ以降10年先(2032年度)までの間を後期として策定しました。

3-2 長期計画策定の方法

2022年5月に長期計画検討プロジェクトを立ち上げました。各事業所選出による14名で構成し、2022年度中に12回、2023年度中に2回にわたる検討会を開催しました。また、全常勤職員・嘱託職員に対し長期計画に対する意見提出を依頼し、提出された意見については計画の検討に活かしました。

4 すみなす会の課題と4つの経営理念 ～2032年SDGs目標達成を目指して～

長期計画検討プロジェクトにおいて議論を積み重ねる中で、課題を「経営」「人材育成」「職場環境」「利用者」「地域」「新しい事業」の6つの視点で整理しました。



「経営」の視点からは、将来に向けて経営基盤の安定化を図ること、法人の事務局機能の強化を進めること、法人全体の情報発信力を高めること、職員の採用力を強化し、人材を確保すること、ICTなど先端技術の活用を進めること、自然災害や感染症等リスクへの対応などが課題として挙げられました。

「人材育成」の視点からは、職員研修の体系化を図ること、法人内で職場交流するしきみを整えること、人材育成サポート体制の導入を検討すること、法人内で人事異動の活性化を図ることなどが課題として挙げられました。

「職場環境」の課題としては、働き続けられることができる制度や環境の整備、相談しやすい環境の整備、適正な職員配置・業務の細分化・雇用形態の拡大などが挙げられました。

「利用者」の視点からは、新たな暮らしの場の創出、新たな日中の過ごし場の創出、医療やリハビリテーション機能の充実、地域生活支援・地域包括ケアシステムの充実、利用者の生活環境の計画的整備などが課題として挙げられました。

「地域」「新しい事業」の視点からは課題として、地域との柔軟な関係づくりを進めること、現状のサービスの狭間にあるニーズを把握し、既存事業の柔軟な展開と新しい事業の創出、法人と地域で協働できる事業の創出、障害理解を含め、様々な人の相互理解を深めていく発信拠点としての役割を果たしていくこと、ボランティアの受け入れ体制の整備などが挙げられました。

これらの課題に取り組む上で、すみなす会の目指すべき方向性について、全職員はじめ、関わる多くの人たちにわかりやすく示すことの重要性を確認し、以下のように、4つの経営理念を作成しました。

4つの経営理念

(1) 私たちは、地域と共につながり合い、支え合い、創り合える社会を目指します

地域と共に、すみなす会と地域の資源を活用して地域に根差した事業を展開します。地域に必要とされる法人となり、「誰一人取り残さない」社会を目指します。

(2) 選ばれる、満足できる、すみなす品質を高めていきます

地域・利用者に選ばれ、高い満足を得ていただけるすみなす会となり、安定した事業継続により、すみなす品質を高めていきます。

(3) 誰もがやりがいを持てる職場、ぬくもりのある職場、誇りを持てる職場を作ります

人権意識の向上を進め、職員が働き続けたい職場環境を作り、職員が自ら成長し、魅力ある職場をつくり、豊かな人材あふれる職場を目指します。

(4) 事業を進めていくにあたっては、SDGsの視点を取り入れます

→(1)(2)(3)の事業はSDGsの17の目標達成を目指して進めます

この4つの経営理念の実現を目指して、取り組むべき重点項目を作成したものが、次章の「すみなす会長期計画～4つの経営理念と重点項目～」です。

それぞれの経営理念を達成することで実現されるSDGsの17の目標もあわせて整理しました。

5 すみなす会長期計画～4つの経営理念と重点項目～

すみなす会の理念 ●「すみなす=住み成す」の実現 ●地域の誰もが明るく豊かに！

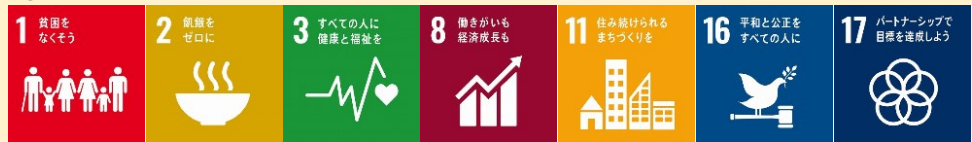
4つの経営理念

- (1) 私たちは、地域と共につながり合い、支え合い、創り合える社会を目指します
- (2) 選ばれる、満足できる、すみなす品質を高めていきます
- (3) 誰もがやりがいを持てる職場、ぬくもりのある職場、誇りを持てる職場を作ります
- (4) 事業を進めていくにあたっては、SDGsの視点を取り入れます

<経営理念>

<重点項目>

<p>(1)</p> <p>私たちは、 地域と共に つながり合い、 支え合い、創り合える 社会を目指します</p>	<p>① 地域ニーズを把握し、新規に地域に貢献する事業を検討します</p> <p>② すみなす会が持つ資源と地域の資源で協働できる事業の構築を進めます</p> <p>③ 人の多様性への理解を広めていく発信拠点としての役割を發揮します</p> <p>④ ボランティアの受け入れ体制の整備を進めます</p>
<p>(2)</p> <p>選ばれる、 満足できる、 すみなす品質を 高めていきます</p>	<p>① 利用者の生活環境の向上を図ります</p> <p>② 利用者支援に必要な事業の拡大を進めます</p> <p>③ 医療面の機能の充実を図ります</p> <p>④ 自然災害や感染症等リスクへの対応、事業継続計画(BCP)の更新を進めます</p> <p>⑤ 将来に向けて経営基盤の安定化を図ります</p> <p>⑥ 施設の計画的な修繕を推進します</p>
<p>(3)</p> <p>誰もがやりがいを 持てる職場、 ぬくもりのある職場、 誇りを持てる職場を 作ります</p>	<p>① 人材育成体制の体系化を図ります</p> <p>② 職員が働き続けたい職場環境の整備を進めます</p> <p>③ 職員採用力の強化と人材確保を進めます</p> <p>④ 人権意識の向上を進めます</p>
<p>(4)</p> <p>事業を進めていくに あたっては、 SDGsの視点を 取り入れます</p>	<p>(1)(2)(3)の事業はSDGsの視点を取り入れて進めると同時に、すべての事業は以下の重点項目達成を念頭に進めます</p> <p>① 省エネ、資源の活用、自然を守り、地球環境とともに生きていきます</p>



6 計画内容

(1) 私たちは、地域と共につながり合い、支え合い、創り合える社会を目指します

重点項目	その内容	想定されるスケジュール			
		2023	2024～ 2025	2026～ 2027 (中間評価)	2028～ 2032 (後期評価)
① 地域のニーズを把握し、新規に地域に貢献する事業を検討します					
1.	<p>地域との柔軟な関係づくりを進める方策の検討、実施を進めます。</p> <p>① 町内会とのつながり、地域行事への参加を継続し、法人が果たせる役割を整理し、充実を図ります。</p> <p>② すみなすフェスタ等年間行事に地域住民の参加を得ながら実施します。</p> <p>③ 地域の課題、ニーズを把握し、法人全体で共有し、果たせる新たな役割を検討します。</p>	参加継続	役割の整理 法人全体共有 検討	実施	充実
2.	<p>現状のサービスにある狭間を点検、把握し、既存事業の柔軟な展開と新たな事業を検討、実施します。</p> <p>① 地域課題やニーズを事業に繋げるしくみをつくります。</p> <p>② 具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世帯丸ごと支援、多問題世帯、支援困難ケース対応 ・引きこもり状態にある親子の支援、8050 問題 ・ダブルケアラー・ヤングケアラーの課題 ・こどもの育ちと家庭の支援、保育所 ・デイサービスの柔軟な運営 ・送迎体制の強化 ・障害福祉部門の横出し、複合サービスの展開 ・食糧・食料支援 ・地域交流事業 等について <p>ニーズの確認・共有を行い、法人の担う役割を確認し、事業の採算性と合わせて検討します。</p>	実施・地域	住民参加の充実		
3.	<p>地域の活動、法人の事業等を広報し、地域とのつながりを強め、新たな福祉活動が生まれるよう働きかけます。</p>	プロジェクトの 立ち上げ ニーズの共有	役割の検討		
4.	<p>手工芸作品づくりや食品づくりなど、地域の興味を持つ方たちとモノづくりの楽しさを広げ、繋がりを強めます。</p>	準備	法人の 広報戦略 作成 試験的实施	事務局を中心に 法人全体での広報活動 試験的实施	随時検討 しくみづくり 随時見直し
		現状の確認	ものづくり体	随時見直し	充実

(1) 私たちは、地域と共につながり合い、支え合い、創り合える社会を目指します（続き）

重点項目	その内容	想定されるスケジュール			
		2023	2024～ 2025	2026～ 2027 (中間評価)	2028～ 2032 (後期評価)
② すみなす会が持つ資源と地域の資源で協働できる事業の構築を進めます					
1. これまでの地域との連携を継続し、避難訓練などの防災対策を地域住民と行い、災害時の連携体制を強化します。 【検討項目】 ・災害時の法人の地域貢献の取り組みの検討と準備 ・災害時に対応できるよう、地域住民の方と一緒に防災協力チームの体制づくり ・災害時の避難経路マップ等、協働できる取り組みの検討		定期的な合同避難訓練の実施 消防隊による緊急時対応講習会の実施			
	地域貢献の取り組みの検討	地域貢献の取り組みの準備・試験的実施	地域貢献の取り組みの実施	実施・見直し	
		防災協力チーム体制の検討・準備		実施・見直し	
		準備	検討	実施・見直し	
2. すみなす会の資源と地域の資源を組み合わせることができる地域課題を解決する協働事業を検討します。 ①地域課題の抽出とすみなす会の取り組む課題の整理 ②すみなす会の資源の確認 ③地域の資源の確認 ④地域課題に対するすみなす会と地域の資源の活用 の検討 ⑤協働できる事業化に向けた検討 【検討項目】 ・法人の施設等を活用した地域交流、地域貢献、子育て支援等の推進 ・地域住民の活躍できる場をつくり、助け合いの関係をつくる活動の推進 ・地域住民同士のつながりを生み出す場づくりの推進		地域課題の抽出と取り組み課題の整理 資源の確認 地域課題と資源のマッチング 事業化に向けた検討			
		検討	準備・試験的実施 見直し	充実	
			検討	準備・試験的実施 見直し	
3. 災害時等に法人としてできる支援を検討し、実施します。 (災害地への職員派遣、利用者受入、募金活動等)		随時検討	実施	見直し	充実
4. 地域や大学等と連携し、地域の諸活動の発表の場、交流できる場づくりを検討します。			検討	準備・試験的実施 見直し	

(1) 私たちは、地域と共につながり合い、支え合い、創り合える社会を目指します（続き）

重点項目	その内容	想定されるスケジュール			
		2023	2024～ 2025	2026～ 2027 (中間評価)	2028～ 2032 (後期評価)
③ 人の多様性への理解を広めていく発信拠点としての役割を発揮します					
人の多様性への理解を広めていくため					
1. 地域の人たちが気軽に立ち寄れる場、集まれる場、交流する場をつくります。					
【検討項目】					
「海」コーナー、竹の子広場等の活用／カフェ・ドゥ・リアン、カフェ・ドゥ・アミーの活用／生活介護事業所等を含めた地域の複数の拠点に地域交流スペースを設置／古民家の活用／放課後の子どもの遊び場、勉強スペース、駄菓子コーナーの設置、ボランティア活動等					
2. 定期的なイベントや講座を開催します。					
【検討項目】					
市民講座の開催／障害福祉部門のものづくり講座／デイサービスでの異世代交流会					
3. 「人の多様性理解」を広める法人の活動を掲載したリーフレット等を発行、法人ホームページ、SNSを活用し、理解を広めます。					
		検討	準備・試験的	実施 見直し	充実
		現状の確認	教育機関、公的機関、障害団体との連携	随時検討	定期的なイベント開催
		見直し			見直し・実施
		検討	準備・試験的	実施 見直し	充実
④ ボランティアの受け入れ体制の整備を進めます					
法人全体でボランティアの受け入れ体制の整備を進めるため					
1. 法人事務局において、各事業所のボランティア受け入れ状況を整理します。また、ボランティア受け入れのしくみを整理します。					
【検討項目】					
・受け入れについて、個人情報整理、ボランティア保険(横浜市市民活動保険等)、謝金、シニアポイント活用等					
2. 1. の整理した内容を法人全体で共有を行い、検討し、実施します。					
3. 法人が実施しているボランティア募集および活動について、地域住民、学生、企業等へ幅広く広報等を行います。					
		調査・整理			
			共有プロジェクト立上げ	準備・実施	見直し・充実
			準備	試行的実施	実施・見直し

(2) 選ばれる、満足できる、すみなす品質を高めていきます

重点項目	その内容	想定されるスケジュール			
		2023	2024～ 2025	2026～ 2027 (中間評価)	2028～ 2032 (後期評価)
① 利用者の生活環境の向上を図ります					
<p>法人全体で利用者の生活環境の向上のための取り組みを検討します。具体的には、以下の項目を想定します。</p> <p>1. バリアフリー化等施設整備および生活環境の整備を進め、利用者の生活の質を高めます。</p> <p>【検討事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体状況の変化、認知症、障害特性、強度行動障害、高齢化等の課題に対する情報整理と環境整備、専門的支援の提供 ・受け入れ前のケースカンファ、環境整備、チーム支援の充実 <p>2. 質の高い支援ができる専門性の高い職員を増やします。</p> <p>【検討事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家・専門機関と連携した支援職員の支援に対するスーパーバイズや能力開発支援 ・介護スキル、金銭管理や保険制度等利用者生活支援全般に必要な知識習得の機会提供 ・利用者、ご家族の拠り所となるよう、家族を視野に入れた一体的な支援の実施 ・アンガーマネジメント、メンタルヘルス研修等の継続による職員のケア体制の充実 					
		資金計画 検討後	プロジェクト 立上げ 【ハード面】 検討	準備 随時実施 見直し	
		【ソフト面】 検討	準備 随時実施 見直し		充実
		随時検討			
			準備 随時実施 見直し		充実
② 利用者支援に必要な事業の拡大を進めます					
<p>地域に貢献することを念頭に、利用者支援に必要な事業の拡大を進めるため</p> <p>1. 地域ニーズを把握し、法人全体で共有し、地域に貢献する新規の事業を検討し、各種調整を行い、実施します。</p> <p>① 新たな暮らしの場の検討と設置</p> <p>② 新たな日中の活動の場の検討と設置</p> <p>③ 高齢福祉分野と障害福祉分野協働の事業の検討と実施</p> <p>④ 在宅での医療支援事業の検討と実施</p> <p>⑤ 子どもの育ちの支援の検討</p> <p>⑥ その他の事業の検討と試験的实施</p>					
		準備	検討	開設準備	開設
		検討	設置準備	検討・設置	充実
			準備	検討 (開設準備・開設)	
				準備	検討
		準備	検討 (開設準備・開設)		
			準備	検討	

(2) 選ばれる、満足できる、すみなす品質を高めていきます（続き）

重点項目	その内容	想定されるスケジュール			
		2023	2024～ 2025	2026～ 2027 (中間評価)	2028～ 2032 (後期評価)
② 利用者支援に必要な事業の拡大を進めます（続き）					
	<p>2. 現状の利用者支援の課題を整理し、法人全体で既存の事業の見直しと新たな運営、活用方法の検討をし、実施します。</p> <p>① 地域包括ケアシステム・地域生活支援拠点の構築と充実</p> <p>② 世帯丸ごと支援、多問題世帯の対応の検討と実施</p> <p>③ 福祉サービスに繋がっていない方たちに体験利用の場の提供、利用、繋がりづくりの促進</p> <p>④ 日中活動(障害)、デイサービス(高齢)の延長利用、お泊りデイサービス等の検討と実施</p> <p>⑤ 高齢・重度知的障害者の支援(認知症対応、共生型サービス、入浴介助サービス活用等)の検討と実施</p> <p>⑥ 土日の余暇活動事業の検討と実施</p> <p>⑦ 制度外サービス・活動の検討と実施</p> <p>⑧ 利用者工賃アップへの取り組みの検討と実施</p> <p>3. 法人の事業の周知方法を検討し、事業を広め、地域からの声を受け止めます。</p> <p>① 各種講座、イベント、広報誌、情報誌、SNS等インターネット等について、周知方法と周知内容を検討します。</p> <p>② 様々な制度、福祉情報の提供による生活困難課題を乗り越える糸口を伝え続けていきます。</p> <p>③ 潜在的な福祉ニーズを取りこぼさず、必要なサービスに繋がる機会を増やし続けます。</p> <p>④ 地域の声を事業検討に反映するしくみをつくります。</p>	<p>調査・整理</p> <p>課題共有プロジェクト 立上げ 検討</p> <p>調査・整理 プロジェクト 立上げ準備</p> <p>調査結果共有 プロジェクト 立上げ 検討</p> <p>継続</p> <p>継続</p>	<p>課題共有プロジェクト 立上げ 検討</p> <p>試行的実施</p> <p>調査</p> <p>見直し</p> <p>見直し</p> <p>見直し</p> <p>見直し</p>	<p>随時検討</p> <p>随時実施・見直し</p> <p>一部事業化</p> <p>実施</p> <p>実施</p> <p>実施</p> <p>実施</p>	<p>随時検討</p> <p>随時実施・見直し</p> <p>一部事業化</p> <p>充実</p> <p>充実</p> <p>充実</p> <p>試行的実施 見直し</p>
③ 医療面の機能の充実を図ります					
	<p>1. 利用者の健康管理と病気の予防(ヨガなどの運動やリハビリ)を検討し、実施します。</p> <p>2. 高齢福祉・障害福祉部門で連携し、看護師の配置増加や理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)の起用と確保を進めます。</p> <p>3. 医療面の緊急対応体制を検討し、整備を進めます。</p> <p>4. 通院できる医療機関の開拓を進め、提携します。</p>	<p>検討</p> <p>検討</p> <p>検討</p> <p>準備</p>	<p>準備・試験的 実施 見直し</p> <p>準備</p> <p>準備・実施</p> <p>随時実施</p>	<p>充実</p> <p>実施</p> <p>見直し・実施</p>	<p>充実</p> <p>実施</p> <p>見直し・実施</p>

(2) 選ばれる、満足できる、すみなす品質を高めていきます（続き）

重点項目	その内容	想定されるスケジュール			
		2023	2024～ 2025	2026～ 2027 (中間評価)	2028～ 2032 (後期評価)
④ 自然災害や感染症等リスクへの対応、事業継続計画（BCP）の更新を進めます					
	1. 法人全体で不足なく災害対策を進めます。 2. 各事業所の事業継続計画(BCP)を法人全体で統合します。 緊急時に BCP を実行できるよう、事前に検討し、訓練を行います。 【検討事項】 ・自然災害や感染症等リスクへの対応	検討	随時実施・見直し	検討	充実
⑤ 将来に向けて経営基盤の安定化を図ります					
	地域福祉を先導し、社会福祉法人の責任を果たすため、経営基盤を盤石にします。 1. 法人事務局の機能を強化します。 （事務局スペースの確保と人員増加/人材育成部門・事業企画部門の設置） 2. 法人全体で事業経営を考えるしくみをつくり、実行します。 （経営理念、経営状況に基づき、事業整理・統廃合・転換の検討・実施、収益増計画の検討と作成・実施） 3. 法人全体の情報発信力を高めます。 4. ICT など先端技術の活用を進めます。	実施 調査・整理 課題共有プロジェクト 立上げ 検討 事業経営 計画の作成	随時見直し 随時計画 実施 見直し 計画修正	拡充 実施 準備	充実 充実 実施
⑥ 施設の計画的な修繕を推進します					
	1. 法人全体での検討と実施計画を作成し、経営状況とバランスを取りながら修繕を進めます。 【検討事項】 ・修繕実施計画作成 ・経営状況確認と経営状況の反映	調査・整理	課題共有 プロジェクト 立上げ 検討 修繕計画 の作成	随時計画 実施 見直し 計画修正	

(3) 誰もがやりがいを持てる職場、ぬくもりのある職場、誇りを持てる職場を作ります（続き）

重点項目	その内容	想定されるスケジュール			
		2023	2024～ 2025	2026～ 2027 (中間評価)	2028～ 2032 (後期評価)
③ 職員の採用力の強化と人材確保を進めます					
職員の採用力の強化と人材確保のため					
1. 職員採用方法について見直し、改善、拡充を進めます。					
		準備・検討	見直し 改善実施	随時見直し	検討 実施
2. 大学・専門学校等向けにすみなす会の魅力を発信します。					
		準備・検討	実施	随時見直し	検討 実施
④ 人権意識の向上を進めます					
すみなす会が、「すべての職員が人権尊重を基礎において仕事を する組織体」であるために					
1. 人権啓発推進委員会を設置します。					
設置初年度となる 2023 年度は、人権啓発推進委員会の詳細の検討を行います。以下の取り組みの他、委員会での議論を踏まえた取り組みを進めます。					
① 全職員の人権意識に関する調査					
② 各事業所における人権啓発に関わる取り組み調査					
③ 人権啓発研修計画の策定と実施					
④ 人権にかかわる「職員行動指針」等の検討					
2. 人権啓発の組織的取り組みを推進します。					
① 各事業所における「虐待防止」「身体拘束適正化」「ハラスメント防止」の実施					
② 法人全体で課題を共有し、解決に向けた取り組みの推進					
		実施	随時見直し	検討 実施	充実
		実施 随時見直し・検討	実施	実施	充実
		準備・検討	実施	随時見直し	検討 実施

(4) 事業を進めていくにあたっては、SDGs の視点を取り入れます

重点項目	その内容	想定されるスケジュール							
		2023	2024～ 2025	2026～ 2027 (中間評価)	2028～ 2032 (後期評価)				
<p>前述の (1) (2) (3) の事業は SDGs の視点を取り入れて進めると同時に、すべての事業は以下の重点項目達成を念頭に進めます</p>									
<p>① 省エネ、資源の活用、自然を守り、地球環境とともに生きていきます</p>									
<p>持続可能な未来に向けて取り組みを進めます。</p>									
<p>1. 再生可能な資源を活用したサービス提供や、資源の無駄を少なくする取り組みを行っていきます。</p>									
<p>【具体的取り組み事項・検討事項】</p>									
<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス化 ・再生紙の活用 ・事業所間の備品類の共有化 ・公用車の有効活用 ・ペットボトルやアルミ缶のリサイクル活動 ・古布を割いた糸などを再利用したさをり織り ・製品にならなかった和紙を再び原料に(手すき和紙) ・牛乳パックを再利用した紙製品 ・紙袋でレジ袋を削減 ・地元食材を使った飲み物やケーキをカフェで販売 等 						継続	随時見直し・検討	実施	充実
<p>2. 省エネルギー化や温室効果ガスの削減に取り組めます。</p>									
<p>【具体的取り組み事項・検討事項】</p>									
<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電と蓄電 ・公用車のハイブリッド車・電気自動車への移行 ・LED 化 ・節水型トイレ・シャワー等の導入 ・グリーンカーテンの導入 等 						継続	随時見直し・検討	実施	充実
<p>3. 自然を知る講座等の開催を通し自然保全活動を進めます。</p>									
<p>【具体的取り組み事項・検討事項】</p>									
<ul style="list-style-type: none"> ・地域と協働して野菜等の地産地消活動 ・自然や海を知る講座 等 						検討	随時準備 試験的実施	見直し	実施

社会福祉法人すみなす会
長期計画



2023年6月1日

社会福祉法人 すみなす会

〒236-0045 神奈川県横浜市金沢区釜利谷南2-8-1

電話：045-788-2901 FAX：045-788-2906

<https://www.suminasu.or.jp>